

WBGT値の把握方法、WBGT値の低減対策

場内放送の工夫

事例



SW1

ただいまWBGT温度が28° 以上となりました。
通常の休憩に加え、1時間に1回ごとに10分間の休憩を確保してください。
水分・塩分をこまめに補給を行って下さい。
周りに体調が悪そうな人は見当たりませんか？
異常があれば、事務所まで連絡するようにして下さい。

スイッチを押したら30分毎に1回流れるよう設定。【定時放送はストップ】



SW2

ただいまWBGT温度が31° 以上となりました。
通常の休憩に加え、30分に1回ごとに10分間の休憩を確保してください。
水分・塩分をこまめに補給を行って下さい。
周りに体調が悪そうな人は見当たりませんか？
異常があれば、事務所まで連絡するようにして下さい。

スイッチを押したら10分毎に1回流れるよう設定。【定時放送はストップ】

概要

区分

建築

職種

全種

事務所内および現場内外周通路に放送設備（定時放送 8:30-16:40）を設置し、作業員に音声を通じて注意喚起できる設備を整えた。

主な放送内容は以下のとおりとした。

- ①定時放送（10月～5月末）休憩時間の周知
- ②定時放送 夏季仕様（6月～9月末）水分・塩分補給（休憩時間）の周知
- ③緊急放送（WBGT温度が28℃以上は30分毎に1回注意喚起、WBGT温度が31℃以上は10分毎に1回注意喚起）

効果

緊急放送が繰返し流れることにより、作業員に休憩を確保する意識を促すことができた。

1時間ごとに1回の休憩（WBGT温度28℃以上）、30分ごとに1回の休憩（WBGT温度31℃以上）を自発的にとる業者が多く見受けられた。